



高エネルギー吸収型落石防護網「強靱防護網」新ラインアップ販売開始

■ 費用対効果を鑑みて柔軟な選定が可能に

平成30年1月より販売が開始された、高エネルギー吸収型落石防護網「強靱防護網」は、令和2年4月より新タイプを2つ追加し、合計6タイプのラインアップになりました。(表-1)

タイプ	対応エネルギー	高さ(SL)	延長(W)
ロープタイプ	2,700kJ	15.0m～	10.0m～
	2,500kJ	13.5m～	
ネットタイプ	1,400kJ	12.0m～	
	700kJ	11.0m～	
	400kJ	10.0m～	
	200kJ		

表-1 強靱防護網 新ラインアップ一覧

新たに、ネットタイプに400kJ、2,500kJが増えたことで、要対策箇所における落石規模に応じて、費用対効果を鑑みて、従来より柔軟な選定が可能になりました。

また、従来の1,200kJ対応モデルについて、継続的に性能検証(実規模実験)を行った結果、落石エネルギーは1,400kJまで対応可能となり、表記変更を行いました。

■ 新カタログは性能設計の補足資料として活用可能

新ラインアップの販売開始に合わせて、工法カタログも内容を一新し、副題に「性能設計ソリューション・マニュアル」と付記されました。(写真-1・2、カタログ一部抜粋)

ソリューションとは「回答」「解決する」などの意味を持つ英語であり、当該カタログにおいては、落石防護網工に関する性能設計の課題を解決する為の補足資料として活用してほしい…といった意味が込められています。

そのため、性能照査の概要・事例・見るべき項目・Q&Aと多岐にわたる内容が盛り込まれており、単純な販促ツールとは一線を画す構成となっています。(提供は2020年4月以降を予定)

強靱防護網カタログは、当社ホームページより電子版のダウンロードが可能となっています。(公開は2020年4月以降を予定)ダウンロードの際、ログインする必要があります。初めての方は、必要な情報をご記入し送信の上、送られてきたID・パスワードをご使用頂きますと、ダウンロードページへ進みます。冊子版をご希望の方は、末尾のお問い合わせ先までご連絡下さい。



写真-1 強靱防護網カタログ(一部)

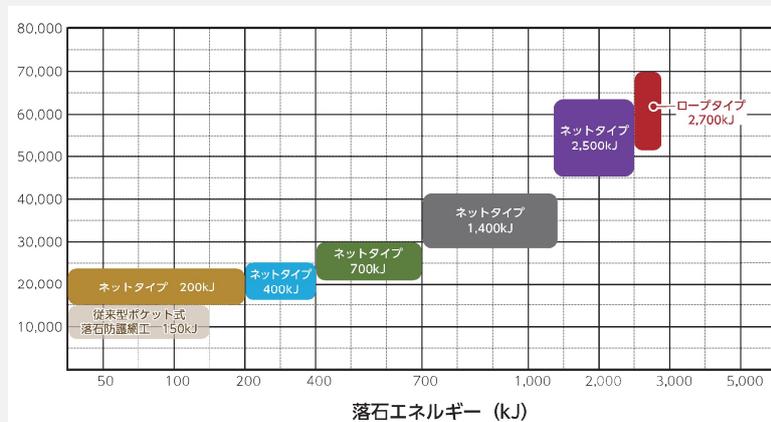


写真-2 概算工事単価 (1m2当り目安)

★ 5,000kJの実験いよいよ開始

昨年末より改修を進めてきた、実規模実験場(糸魚川市)の作業が完了し、強靱防護網のトップエンドモデル、5,000kJ開発に向けて、実験が開始されました。

重錘を落下させる軌道部分は、大幅なアップグレードが施されて世界唯一と言っても過言ではない施設に生まれ変わりました。

使用する、約15tのコンクリート重錘(写真-3)が軌道台車に乗っているのを目の当たりにすると、ネットタイプ2,500kJ開発時に使用していた約7.4tの重錘ですら、豆鉄砲に感じるほどです。5,000kJタイプは、2020年度中の販売開始を目指し、継続的に実験を行ってまいります。



写真-3 重錘(約15.1t)



エルサルバドルにて「中米道路災害リスク削減技術研究会」を設置

■ エルサルバドル公共事業運輸省と共同署名

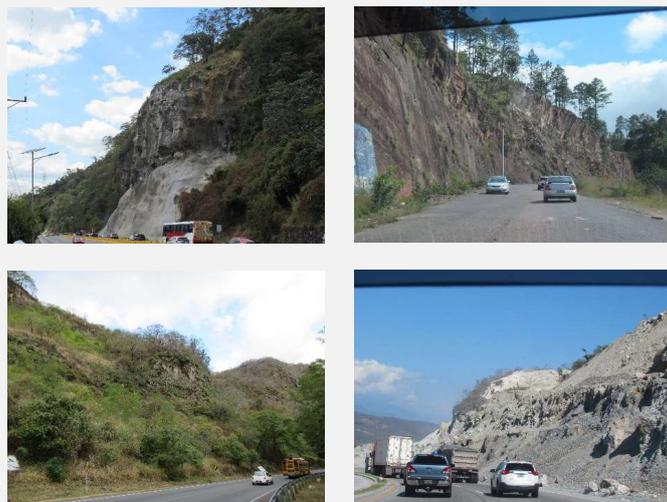
昨年8月、独立行政法人 国際協力機構 (JICA) より採択された、中小企業支援事業「高エネルギー吸収型落石防護網工法の適用促進基礎調査」は、本年1月14日～30日 (現地時間) に本調査を実施してまいりました。(履行期間は2020年6月30日まで) 2週間ほどの滞在期間中に、4か国 (エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、グアテマラ) の主要幹線道路・斜面状況の確認、政府関係機関や民間企業への訪問と、休む暇のない日程ではあったものの、目立ったトラブルもなく予定通りに進めることができました。

幹線道路沿いの斜面は、切土掘削されている箇所もありますが実質、無対策となっている箇所が殆どという状態でした。現状は「崩れてから対応」といった事後処理が大半であり、大規模な崩落が起きた箇所においては、応急処置的にロックボルトや金網を設置している事例を見ましたが、施工業者からお聞きした話では、根本的な解決にはなっていない、との事でした。

「中米道路災害リスク削減技術研究会」は、中米地域での道路インフラへの効率的な投資、リスク削減を目指すことを目的として、エルサルバドル公共事業運輸省 (MOPT) 大臣、気候変動・リスク管理戦略局 (DACGER) 局長、公共インフラ強化のための気候変動・リスク管理戦略支援プロジェクト (プロジェクトGENSAI II) チーフアドバイザー、シビル安全心によって署名・設置されました。

研究会設置当日は、多くの現地メディアが集まっており、翌日の現地新聞に取り上げられました。

※JICAについて <https://www.jica.go.jp/about/index.html>



中米4か国 幹線道路沿いの状況例



研究会設置・署名式の様子

施工実績



・強靱防護網 ロープタイプ (左) ネットタイプ (右) (静岡県)



・ネットワン (大分県)

・RCネット (熊本県)

● 令和2年2月末の件数 (施工中除く)

強靱防護網	9件
RCネット	257件
ネットワン	414件
リフォース	6件
巨大岩塊固定工	280件
クロスコントロールネット	16件

編集つぶやき

営業企画 渡辺 隆雄

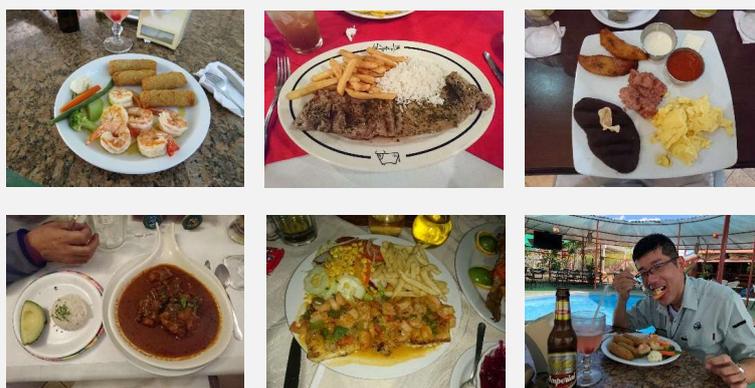
■ 郷に入っては「身体」も郷に従う？

弊社メールマガジンでも少しだけ書かせていただきましたが、中米への渡航前に筆者が一番懸念していた現地での水と食事。個人的には治安の悪さ云々よりも死活問題！と捉えていました(笑) 結論から申し上げますと、全く問題にならないばかりか、気に入ってしまいました。

新潟に住んでいますので「美味しいお米が無いと駄目なんじゃないの？」と心配してくれた友人が居ましたが、私自身そこまでこだわりが無かったのが幸いたようです。

そもそも、日本食と比較するのが間違い...との考えなので、与えられたものを「ありがたく」頂いていただけですが。

とは言え、あまりの適応っぷりに現地地で暮らしている邦人の方からは、変人扱いされてしまいました(;´▽`)



中米の食事写真 (事例)